



自分達の道は、 自分達で直す。

想像してみてください。

あなたの住む村に電車もバスもなく、町の中心地に行くには、一本の農道しかありません。しかし、その道には至る所にぼっかりあいた無数の大きな穴。車やトラックがはまってしまったり、水汲み帰りの子供達が転倒してしまったり…。

病院、マーケット、精米所も、この農道の向こう。

病人や妊婦を乗せたバイクも、重たい農作物を積んだ農家の自転車も、この道を通らなければなりません。

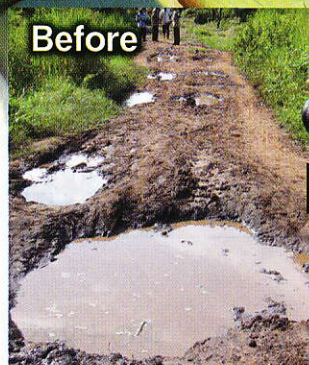
また、道が悪いと村にも人が来てくれません。

作物の仲買人のトラックがこの村に来る事を拒んだり…

悪路が生活の悪循環を生みだします。

私達「道普請人」の活動でもある「現地の人と行う道直し」は、その先に思いがけない喜びが待っていたりします。

私達はいつもその瞬間に出会える時を思い浮かべながら、新しい村に出かけます。



Before



After



仕事も見つからず、将来に希望すら持てなかった。道なおしの研修に参加した事がきっかけで、スラムに住むユースグループの仲間達と小さな建設会社を設立した。今では国から道路工事の仕事を受注できるまでになった。「道なおし」が僕の人生を変えてくれた。

エマニエル カンデイエ(ケニア)



換金作物を腐らせず容易に出荷できるようになり、収入が向上する事で労働者を雇えるようになった。これまで仕事を手伝わせていた子供達を学校に通わす事ができ、今では子供達全員を大学へ行かせるという「夢」ができた。道なおしを続ける事でその「夢」に近づいている。

カシリブ モーゼス(ウガンダ)

道普請人 Community Road Empowerment
NPO法人 道普請人 (Michibushinbito)

<http://coreroad.org/>

